

今回のこの企画は、子供たちに日本の伝統芸能として定着している「落語」をわかりやすく、楽しく理解していただける内容となっております。笑いの中から、「ことばのやりとり」「顔の表情」「身体を使った表現」「創造する力」などコミュニケーションにとって大切な要素を学び取っていただければと思っております。

出演者(予定)

三遊亭楽八(さんゆうてい らくはち)

2013年2月、六代目三遊亭円楽入門。前座名「楽しい」(らっしい)
2016年4月1日、「楽八」と名を改め二ツ目昇進
2020年1月、江戸かつぱれ「桃川流」桃川亜紅(あこう)に師事名取となる桃川玻傳紅(はてんこう)

丸一仙翁社中 花仙(か-せん)

2004年4月、「江戸太神楽」鏡味小仙社中(現 丸山仙翁)入門
国立演芸場、浅草木馬亭、両国寄席、横浜にざわい座、学校、福祉施設、海外公演(フランス、シンガポール、タイ、ラオス、中国、台湾、ネパール)、各イベント、遊園地、お祭りなど出演多数

三遊亭好志朗(さんゆうてい こうしろう)

2013年、ピン芸人「西村」としてR-1ぐらんぷり準決勝に進出
2015年12月、「第一回 はたのぼる賞」最高賞受賞
2016年、三遊亭好楽に弟子入り「三遊亭西村」と名付けられる。
2020年6月、二ツ目昇進で「三遊亭好志朗」に改名

三遊亭好二郎(さんゆうてい こうじろう)

2016年2月、三遊亭兼好に入門、前座名「じゃんけん」
2020年2月、二ツ目昇進

※出演者は都合により変わることもございます。

PAC
Performance Art Culture

一般社団法人PACは、より多くの皆様に
「パフォーマンス」「アート」「カルチャー」を
お届けしたく設立されました。

一般社団法人PACがお届けする古典シリーズ



こどものための狂言
「おもしろ狂言らいぶ」



和泉元彌
「狂言らいぶ」



琉球の唄と踊りと太鼓
「エキサイティングオキナワ」



大型人形劇
「三國志」



三遊亭円楽一門
「楽!らくごライブ」

三遊亭円楽一門による「こどものための落語」

楽!らくごライブ

Raku! Rakugo Live



楽しく、笑いながら古典芸能に
触れることができます

ワッハッハッと
コトバを伝えよう

お問合せ 一般社団法人 **PAC** ☎ 03-3929-1555
お申込み 団法人 ☎ 177-0045 東京都練馬区石神井台8-19-22-505 E-mail: pac.stage.01@gmail.com

三遊亭円楽一門が贈る“伝える力”は“生きる力”

「言葉を送るのではなく、話のビジョンをしゃべる。そうすればよく伝わるんです。」70歳を超えた今も大活躍中の三遊亭円楽師匠のことばです。落語を鑑賞し、落語を知って、コミュニケーションの極意を学ぼう! “伝える力”は“生きる力”にきつとなります。

伝える「力」は「生きる」力!
「伝える」力!
「生きる」力!

標準プログラム 80分(休憩あり)

知ってみよう!
想像してみよう!

① 枕ばなし 15分

落語ってどんな世界だろう? クイズ形式で解説しながら、落語の世界を案内します。

聞いてみよう!

② 落語鑑賞 20分

落語家2名が2演目をお話致します。

見てみよう!

③ 色物鑑賞 15分

伝統芸能“太神楽”を楽しんでいただけます。

— 休憩10分 —

体験してみよう!

④ ワークショップ 20分

落語の仕草・囃り物などにチャレンジしていただけます。

※色物鑑賞なしのショートプログラム(45分)公演も可能です。※あらすじ等を書いた事前資料を公演前にお送りいたします。



～ 落語を通して ～

映画、テレビ、漫画、お芝居。巷に溢れるものは画を想像する必要がないモノばかりです。小説、ラジオのような少ない情報の中から画を想像していくモノはどんどんなくなっていっております。しかし、この「画を想像する力」は児童・生徒さんの成長過程でたくさんの方に役に立つ力です。

落語は画を想像していただかないと全く面白味がありません。

若い人、お年寄り、子供、様々な人を一人の芸人が会話だけで表現していきます。

落語を通して、楽しみながら画を描く力を養って頂けるプログラムとなっております。



三遊亭楽生(さんゆうていらくしゅう) (監修)

1997年4月 8代目三遊亭 円楽(三遊亭 楽太郎)に入門、「楽花生」を名乗る

2001年3月 同名のまね二つ目昇進

2008年3月 「楽生」と名を改め真打昇進

笑点でお馴染み6代目三遊亭円楽の総領弟子

上智大学非常勤講師

埼玉応援団団員(埼玉県観光大使)

さいたま観光大使(さいたま市観光大使)

幸手市しあわせ応援大使(幸手市観光大使)



舞台イメージ



囃り物を使う場面

幽霊の場面

笛で「ヒュー」
大太鼓で「ドドロドロ…」



笛(笛簫)



川の場面

大太鼓で速い川なら「ドンドン」
遅い川なら「どーんどーん」



大太鼓

夜の場面

先の丸いバチでどらを
「ぼーん…」とつく



節太鼓



鉦(かね)



どら